

クメール語

上田 広美

アンケートに従って、以下に言語データを示す。発話の状況によってさまざまな表現があり得るが、以下では代表的な表現のみを挙げた。インフォーマントとして、ウンサー・マロム氏にご協力いただいた。以下、本稿の表記は音韻表記で、坂本(1988)¹に従う。

(1) (その仕事が終わったら) もう帰ってもいいですよ。

許可は、/baan/を動詞句の後に置くことで表現される。発話の状況によっては、命令文で表す。

trɔɔlɔp	tàv	ptɛ̀əh	baan	haəj
戻る	行く	家	得る	(完了)

(2) (腐っているから、あなたは) それを食べてはいけない。 /それを食べるな。

動詞の前に禁止の表現/kom/をつける形(2a)も、(1)に否定の加わった形(2b)も現れる。禁止の表現/kom/は、単独で禁止を表現できる(2c)。

(2a) kom ɲam
(禁止) 食べる

(2b) ʔaɛŋ ɲam mun baan tè
おまえ 食べる (否定) 得る よ

(2c) kom
(禁止)

(3) (遅くなったので) 私たちはもう帰らなければならない～帰らざるを得ない。

義務の表現は、動詞の前に/trəv/をつけて表す。(3)が残念な気持ちを含むか否かは発話の状況による。

jəəŋ	trəv	tàv	sən	haəj
我々	正しい	行く	ひとまず	(完了)

(4) (雨が降るそうだから) 傘を持って出かけたほうがいいよ。

推奨の表現は、命令文で表される。発話の状況によっては、動詞の前に/kuo tae/をつけて

¹ 坂本恭章(1988) 「クメール語」, 『言語学大辞典第1巻世界言語編(上)』1479-1505, 三省堂。

表す。

jòk	chat	tàv	phɔɔŋ
持つ	傘	行く	も

(5) 歳を取ったら、子供の言うことを聞くべきだ／ものだ。

評価的義務としてのこの例文は、慣習的に不自然なので言えない。一般的な評価的義務は、発話の状況によって、動詞の前に /kuo tae/, /trəv tae/, /taeŋ tae/ のいずれかをつけて表す。

(6) (お腹が空いたので、私は) 何か食べたい。

希望の表現は、動詞の前に /cɔŋ/ をつけて表す。この /cɔŋ/ は、単独では「(名詞) を欲する」としては用いられず、/cɔŋ/ の後に動詞 /baan/ <得る> が必要である。/cɔŋ/ は、主語に人称制限はないが、以下に挙げた(6)は1人称の場合であり、主語が変わると /cɔŋ/ 以外の語の選択が変わる。

cɔŋ	ŋam	?əj	bɔntəc
したい	食べる	何	少し

(7) 私が持ちましょう。

1人称の意志は、動作主が随意に行える動作を表す動詞であれば、動詞のみで表される。「私の子が持ちましょう」であれば、2人称の命令文と使役の組み合わせになり、「あなたが持ってくれますか」であれば、(1)の許可の表現を用いた疑問文となる。

knom	cuoj	kan
私	助ける	持つ

(8) じゃあ、一緒に昼ごはんを食べましょう。

勧誘は、命令文で表される。(8)は、既に食卓の用意ができていて食べる直前のところに来た聞き手への勧誘の文である。文頭の /mao/ <来る> がないと、勧誘の意思があまり感じられない。

mao	ŋam	baaj	cèə muoj knèə
来る	食べる	飯	一緒に

(9) 一緒に昼ごはんを食べませんか？

相手の意向が不明な場合の勧誘も命令文で表す。発話の状況によっては、一般疑問文でも表せる。

ŋam	baaj	cèə muoj jèəŋ	sən	tàv
食べる	飯	一緒に	我々	ひとまず行く

(10) 明日、良い天気になるといいなあ。／明日は良い天気になってほしいなあ。

希望は、仮定文で表される。発話の状況によっては、使役文でも表せる。

baə	sʔaek	mèek	srooləh	lʔoo	nah	màəl	təv
もし	明日	空	晴れる	良い	とても	見る	行く

(11) (私はここで待っているから) すぐにそれを持って来なさい。

命令文で表される。

təv	jòok	təv
行く	持つ	行く

(12) そのペンをちょっと貸していただけませんか？

婉曲な命令、懇願は、(1)と同じ許可の表現を用いた疑問文で表す。

som	kcəj	bik	phooŋ	baan	tèe
乞う	借りる	ペン	も	得る	か

(13) あの人は中国語が読めます。／あの人は中国語を読むことができます。

能力可能は、動詞/cəh/<～の仕方を知っている>を用いて表す。

koət	nuh	cəh	màəl	phèəsaa	cən
彼	それ	知る	見る	言語	中国

(14) 明かりが暗くて、ここに何て書いてあるのか、読めない。

状況可能は、動詞/dəŋ/「わかる」を用いて表す。発話状況によっては、随意動詞と不随意動詞の連続で表すこともある。

plàəŋ	ksaoj	səoŋsee	thaa	mac	nuh	mun	dəŋ	tèe
灯り	弱い	書く	と	どのように	それ	(否定)	わかる	よ

(15) (朝早く出発したから) 彼らはもう着いているはずだ。／もう着いたに違いない。

確信は、/praakət cəə/, /cbah cəə/, /mòk cəə/のいずれかを用いて表す。

kèe	praakət cəə	təv	dəl	haəj
彼	確かに	行く	着く	(完了)

(16) (あの人は) 今日हतぶん来ないだろう。

推量は、/prəəhael/<たぶん>を用いて表す。

tɲaj	nih	prəəhael	kèe	mun	mòk	tèe
日	これ	たぶん	彼	(否定)	来る	よ

(17) 彼らがまだ来ないなんて、きっと途中で車が壊れたんじゃないか。

疑念を示すのに否定疑問形式は用いられない。

kèe	ʔət	təən	mòk	tiət	tmaə	nih
彼	(否定)	間に合う	来る	さらに	頃	これ
mòk cəə	laan	khooc				
確かに	車	壊れる				

(18) さあ、(昼間だからあの人は家に) いるかもしれないし、いないかもしれない。

可能性は、/koo mun dəŋ/<かもしれない>を用いて表す。

nəv	koo	mun	dəŋ	mun	nəv	koo	mun	dəŋ
いる	も	(否定)	知る	(否定)	いる	も	(否定)	知る

(19) (額に触ってみて) どうもあなたは熱があるようだ。

視覚/聴覚以外の感覚による判断として、(19)は、親が子どもに言う場合である。医者の発話であれば確かな判断であるので、/cəŋ/はつけない。

cəŋ	kdav	kluon	haəj
したい	熱い	身体	(完了)

(20) (天気予報によれば) 明日は雨が降るそうだ。

伝聞は、/kèe thaa/<人々が～と言う>、/luu thaa/<～と聞く>のいずれかを用いて表す。

kèe	thaa	sʔaek	pliəŋ
彼	言う	明日	雨

(21) もしお金があったら、あの車を買うんだけれどなあ。

反実仮想は、仮定節に/baə/<もし>を用いて表す。

baə	mèən	lòj	cəŋ	təŋ	laan	nuh
もし	ある	金	したい	買う	車	それ

(22) もしあなたが教えてくれていなかったら、私はそこにたどり着けなかったでしょう。

反実仮想の過去の事態は、/baə/と/kom ʔəj/を用いて表す。

baə	nèək ʔaey	mun	prap	mòn	kom	ʔəj	kjɔm	
もし	あなた	(否定)	告げる	前	(禁止)	何	私	
mun	ʔaac	chèən	tàv	dəl	kool dav	baan	nuh	tèe
(否定)	できる	進む	行く	着く	目的	得る	それ	よ

(23) (あの人は) 街へ行きたがっている。

希望のうち, 3人称の人物が主語のものも, /cəŋ/<～したい>を用いて表す。

cəŋ	tàv	tii	kroŋ	nah
したい	行く	所	都市	とても

(24) 僕にもそれを少し飲ませろ。

1人称(単数)命令は, 2人称への命令で表す。発話の状況によっては, 使役との組み合わせで表す。

məə	cak	ʔəoj	ʔəŋ	bəntəc	məəl
見る	注ぐ	与える	俺	少し	見る

(25) これはあの人に持って行かせろ／持って行かせよう。

3人称命令は, 2人称への命令と使役の組み合わせになる。

tòk	ʔaa nuŋ	ʔəoj	koət	nəək	jòk	təv
置く	これ	与える	彼	人	持つ	行く

(26) そのテーブルの上のお菓子を後で食べなさい。

遠未来命令も, 一般の命令文で表す。

kraoj	kom	plèc	ŋam	nòm	nəv	làə	toʔ
後	(禁止)	忘れる	食べる	菓子	いる	上	机
ʔəoj	ʔəh						
与える	尽きる						

(27) もっと早く来ればよかった。

反実仮想は, /baə/<もし>を用いて表す。

baə	mòk	mòn	bəntəc	mèən	ʔəj
もし	来る	前	少し	ある	何

(28) あなたも一緒に行ったら(どうですか)?

条件節のみで文を終わらせることはできない。

(29) そんなことオレが知るか!

この例文は, 疑問詞を含まない形では言えない。

(30) これを作った（料理した）のは、お母さんだよ？ いいえ、私が作ったのよ.

日本語の終助詞に対応する要素は、/mèɛn tèe/になる.

mhoop	nih	mae	tvəə	mèɛn	tèe
料理	これ	母	作る	本当	か
?ɔt	tèe	kpom	tèe		
(否定)	よ	私	よ		